



7/3 平田地区



忘れない!明日のために。

平成24年7月3日、7月13～14日

山国川出水概要

速報版



7/3 柿坂地区



7/13 青地区



7/14 平田地区



7/14 洞門橋



7/3 平田地区



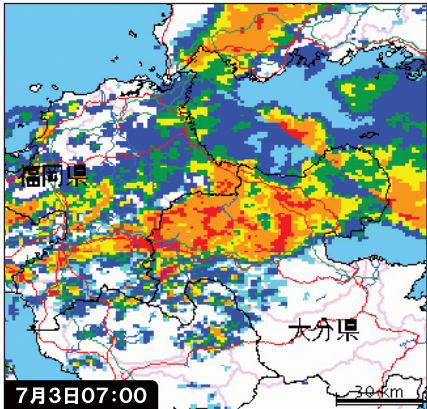
国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

※本リーフレットに記載されている数値は速報値です。今後変更となる可能性があります。

降雨概要

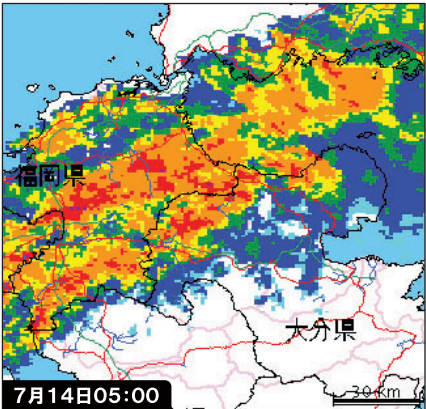
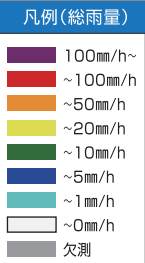
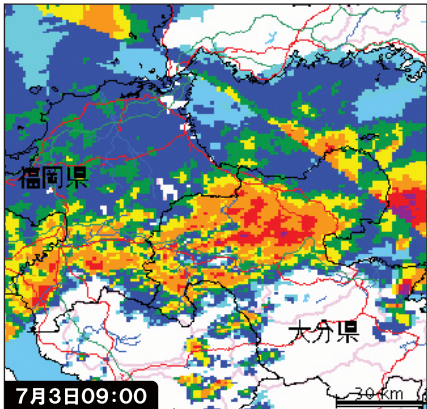
流域内各地でこれまでの記録を大きく上回る短時間の降雨量を記録！

九州北部地方は梅雨前線の影響により6月30日から7月1日にかけて各地で大雨となり、その後一旦小康状態となったが、3日未明からさらに大雨となり、3日早朝には局地的な豪雨となりました。また、7月13日に対馬海峡にあった梅雨前線が午後には朝鮮半島まで北上し、14日まで停滞した影響により13日から14日かけて九州西海上から暖かく湿った空気が流れ込み、13日の夜から14日夕方にかけて非常に発達した雨雲が次々に流れ込み大雨になりました。



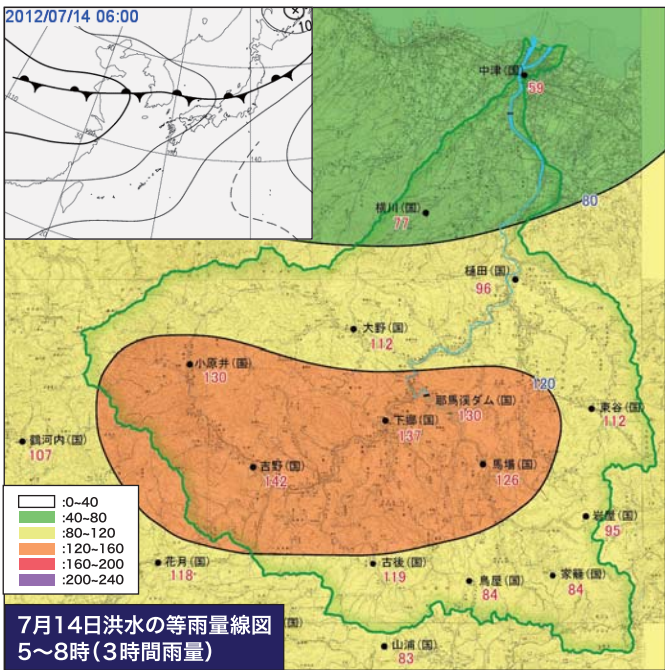
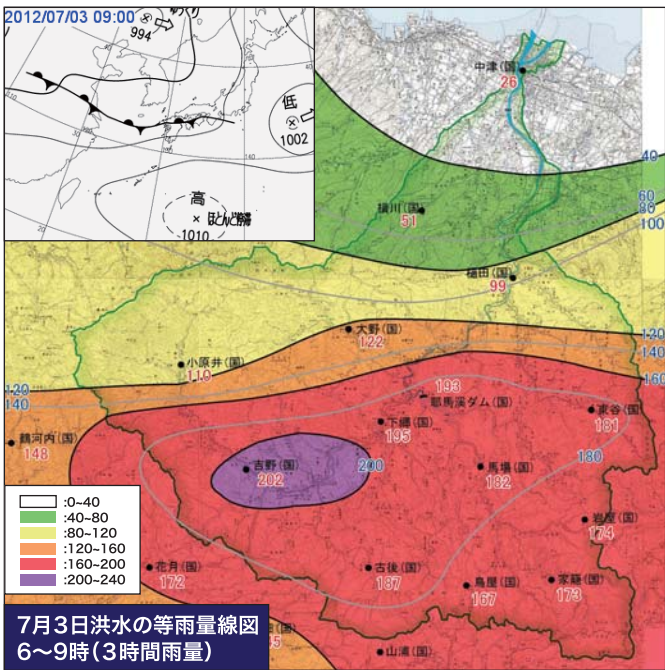
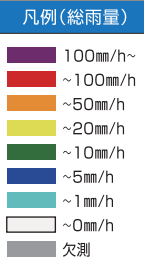
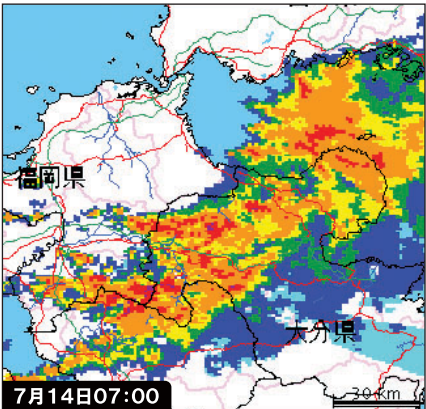
気象レーダー雨量(H24.7.3)

【九州・中国などで大雨】
前線活動が活性化し、西日本中心の大雨。福岡県添田町英彦山86.5mm/1h、大分県中津市耶馬溪ダム75mm/1h、193mm/3hと観測史上1位を更新。



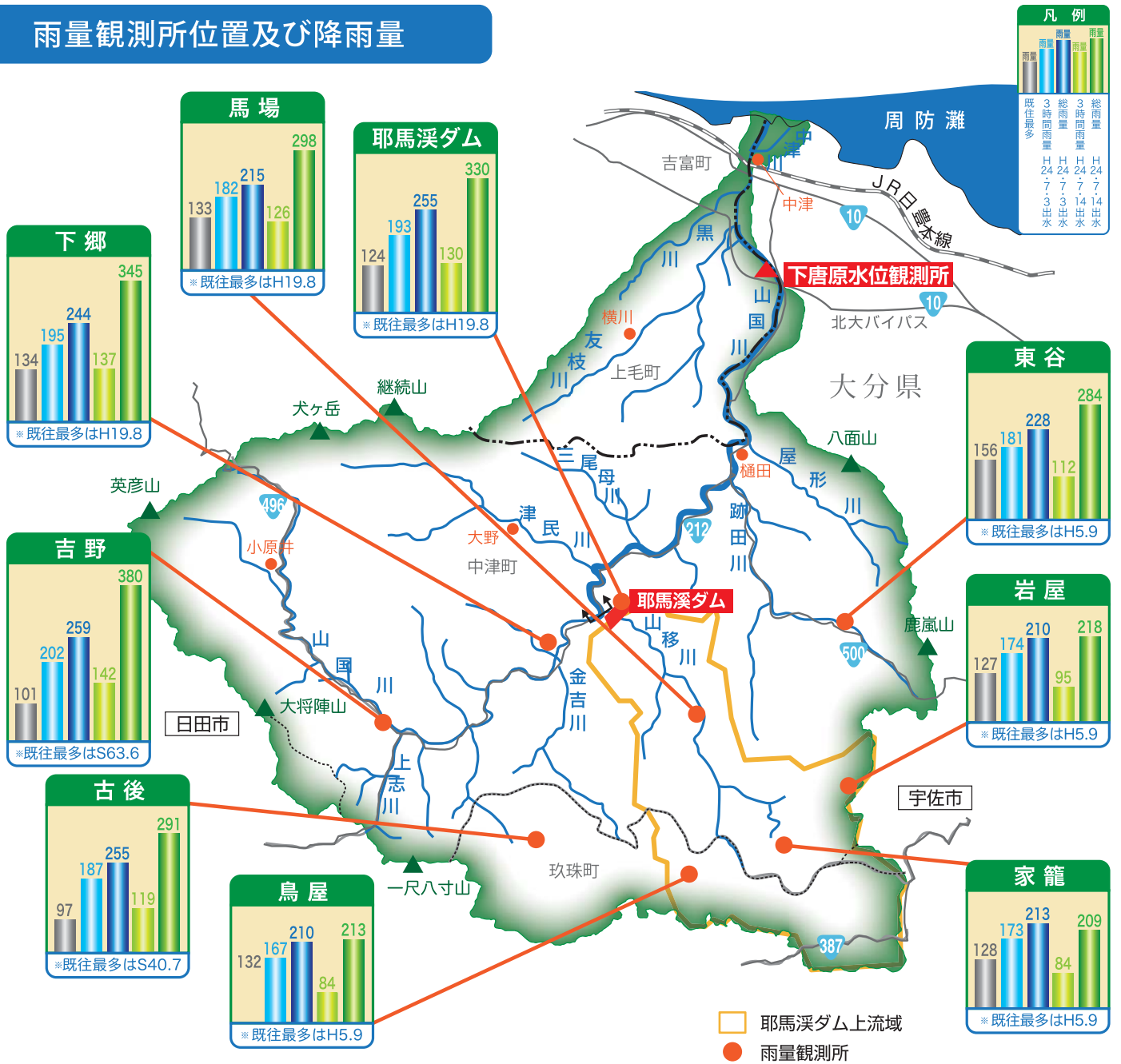
気象レーダー雨量(H24.7.13~14)

【梅雨前線が本州付近に停滞】
九州～中国は雨、九州各地で猛烈及び非常に激しい雨。中津市吉野で65mm/1hと観測史上1位を更新する猛烈な雨、142mm/3hも記録更新。



山国川では、7月3日に中津市下郷雨量観測所で1時間73mm、3時間195mmの観測史上最多の記録的な豪雨となりました。また、13日から14日にかけて、3日に引き続き記録的な豪雨となり、中津市下郷雨量観測所では1時間59mm、3時間137mmの降雨量を観測しました。

雨量観測所位置及び降雨量



洪水	区分	小原井	吉野	古後	下郷	家籠	岩屋	鳥屋	馬場	耶馬溪ダム	大野	東谷	樋田	横川	中津
7月3日洪水	1時間雨量	60	77	79	73	69	70	71	67	75	56	67	46	44	35
	3時間雨量	123	202	187	195	173	174	167	182	193	136	181	121	88	56
7月14日洪水	1時間雨量	78	65	60	59	50	52	49	57	63	65	60	48	49	42
	3時間雨量	139	142	119	137	84	95	84	126	130	127	112	101	88	76

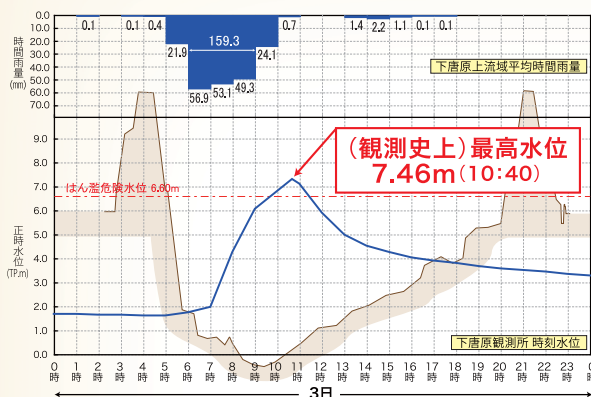
単位: mm

水位概要

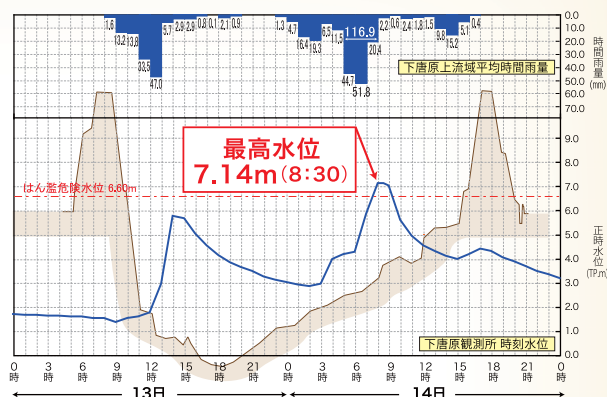
これまでの記録を上回る短時間の豪雨により各地の水位が急上昇し、観測史上最高の水位を記録！

7月3日の降雨では短時間に記録的な豪雨を観測し、山国川水系山国川「下唐原水位観測所」では1時間に約2mと急激に水位が上昇し、はん濫危険水位を超え、昭和28年6月出水時の6.74mを更新する観測史上最高の7.46mの水位を記録しました。さらに7月14日の降雨では3日の記録に次ぐ7.14mの水位を記録しました。

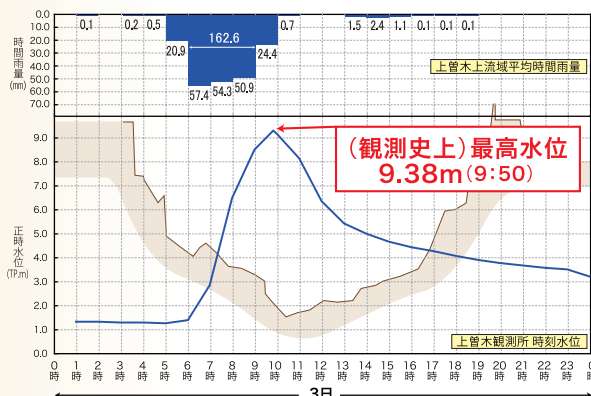
水位波形図(24.7.3) 下唐原観測所



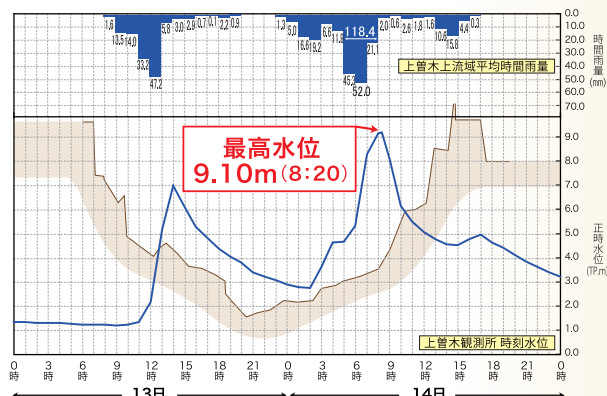
水位波形図(24.7.13~14) 下唐原観測所



水位波形図(24.7.3) 上曾木観測所

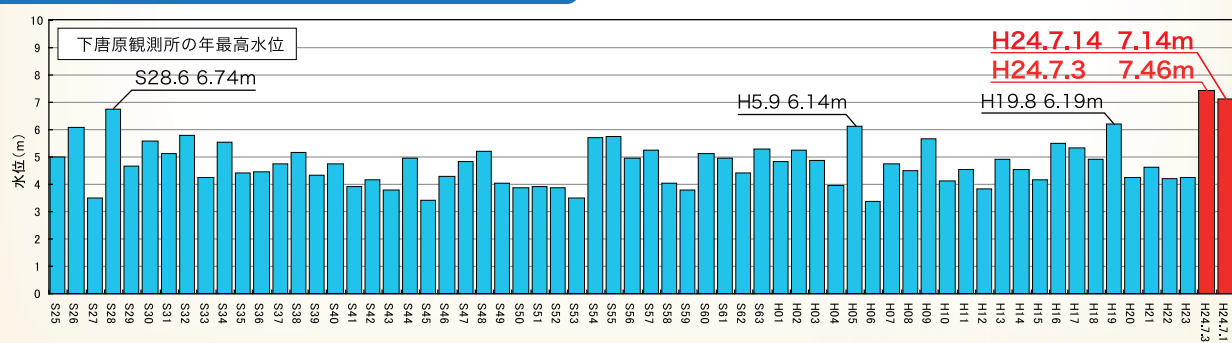


水位波形図(24.7.13~14) 上曾木観測所



出典：水文・水質データベース雨量を用い算出 ※水位は毎正時の値 (出典：水文・水質データベース)

下唐原観測所の年最高水位



耶馬溪ダムの洪水調節概要

耶馬溪ダムの洪水調節機能により、下流の本耶馬溪町青地区において水位を約0.9m低下させる効果。

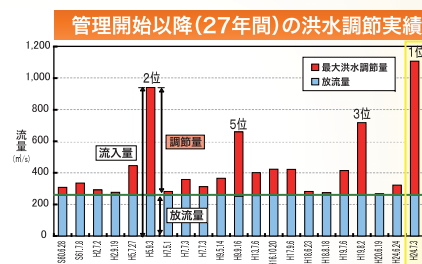


■7月3日の降雨では山国川水系耶馬溪ダムの上流において、7月3日の降雨で4時間で203.8mmの降雨量を観測し、最大流入量は毎秒約1107立方メートルに達し、ダムの管理開始以降最大を記録しました。

※これまでの最大流入量:毎秒941立方メートル(H5.9.3 台風13号)

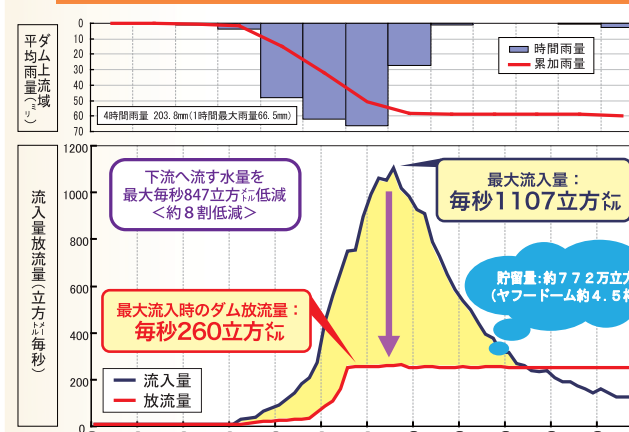
■今回の洪水調節操作において、操作規則に基づき適切な操作を行うことで約772万立方メートル(福岡ヤフドーム約4.5杯分)の水をダムに貯留し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒847立方メートル(約8割)低減させました。

■この結果、下流の上曾木観測所地点(大分県中津市本耶馬溪町青地区)では約0.9mの水位を低下させる効果を発揮しました。



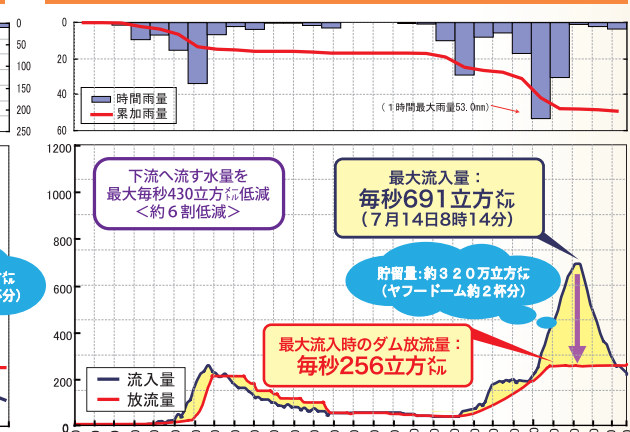
7月3日 耶馬溪ダム

洪水調節操作図

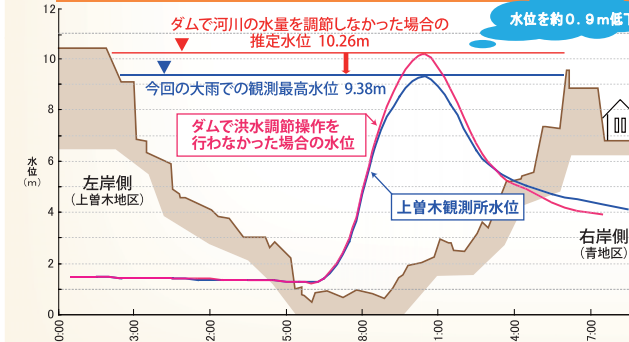


7月13日~14日 耶馬溪ダム

洪水調節操作図

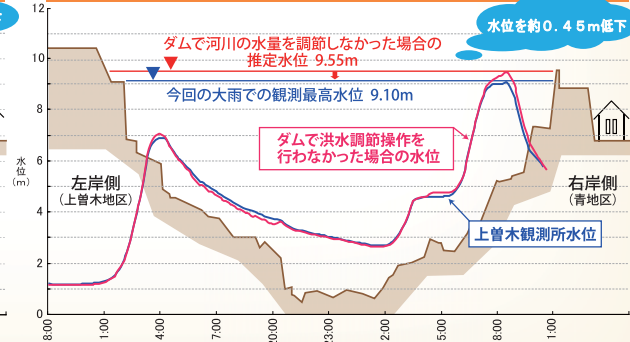


7月3日河川の水位状況(山国川16k500付近 青地区)



※数値は速報値のため、今後変わる場合があります。

7月13~14日河川の水位状況(山国川16k500付近 青地区)



浸水状況

山国川水系流域各地を襲った洪水！

7月3日の豪雨では、山国川柿坂水位観測所で「はん濫危険水位」を超え、上流区間において洪水流が越水し、家屋浸水等が発生、また国道や護岸が崩壊するなど甚大な被害が発生しました。

さらに7月14日の降雨でも再び上流区間において洪水流が越水し、3日に引き続き、家屋浸水等や護岸等の施設被害が発生しました。

山国川水系山国川 浸水範囲

			7/3洪水	7/14洪水
浸水区域面積		ha	58.1	50.1
家屋被害	床上浸水	戸	132	125
	床下浸水	戸	62	63
	計	戸	194	188

※浸水範囲は国土交通省による調査結果です。
※速報値のため今後の調査結果により変わることがあります。

 : 7月3日出水の浸水範囲
 : 7月14日出水の浸水範囲
 : 越水箇所

